

すべての保護者の方へ

不登校児童生徒サポートガイド

～子どもの不安や悩みに寄り添うために～

このサポートガイドは、子どもたちに寄り添うすべての保護者の方へ相談先などについてご紹介するものです。

不登校対応の3つの基本認識

- ▶ 不登校はいつでも、どの子どもにも起こる可能性があります
- ▶ 不登校対応は、すべての子どものためのものです
- ▶ 不登校は問題行動ではなく、社会全体で子どもの成長を見守っていくことが大切です



ご家庭で対応に困られたら一人で悩まず、遠慮なく学校や教育委員会にご相談ください。

学校内における支援【相談体制】

● 不登校等の相談について ●

※一番話しやすい先生に、自分の子どもが学校に行きづらい（行き渋る）ことなどを、話してみてください。

※担任の先生をはじめ、保健室の先生、学年の先生、教頭先生、校長先生、支援員の先生など

学校には、以下の専門家がいます。学校の先生に、「スクールカウンセラーまたはスクールソーシャルワーカーに相談をしたいのですが」と声をかけてみてください。

スクールカウンセラー

- ・ 心の専門家。月に数回、相談日。
- ・ 子ども、保護者にカウンセリングを行います。また、子どもと保護者と一緒にカウンセリングを行うこともできます。

スクールソーシャルワーカー

- ・ 福祉の専門家。月に数回、相談日。
- ・ 関係機関等（医療、福祉機関等）との相談を行ったり橋渡しを行ったりします。

学校内における支援【居場所づくり・学習支援】

● 教室以外の居場所について ●



学校に行きづらい（行き渋る）または、教室になかなか入れない時は、どんなところで過ごせますか？

小・中学校には、校内に以下のような居場所等があります。学校の先生に、「教室以外の居場所の利用や学習の支援について相談したい」と声をかけてみてください。

- 心がほっとするところ、気持ちの安定を図る居場所として、保健室や相談室等があります。保健室の先生や教育相談担当の先生、相談員の先生等が対応しています。
- 教室とは別に、一人一人のペースで登校できる「校内サポート教室」を設置している小・中学校があります。支援員の先生が常駐し、安心して過ごしたり、学習に取り組んだりできるような支援や相談を行っています。
- 「学校生活適応支援員」などの名称で支援員の先生が配置されていて、悩みや不安を気軽に相談できたり、行き渋りや不登校の子どもの支援を行ったりしている学校があります。その学校の中で居場所をつくり、そこで支援等を行っている場合もあります。
- ICTを活用して、自宅をはじめとする多様な場での学びの支援を行っています。



各学校における保健室、相談室、校内サポート教室等の居場所や、支援員の配置、ICTを活用した学習等の支援内容については、在籍校に確認してみてください。

学校外における支援

● 学校以外の居場所、相談先について ●



子どもが学校に行きづらい（行き渋る）ときは、どうしたらいいですか？
また、学校以外にも居場所はありますか？



教育支援センターやフリースクールなどの不登校児童生徒のための相談や学習の場があります。また、保護者の方の相談の場などがあります。ひとりで抱え込まず、ぜひご相談ください。



左の二次元コードに、アクセスすると「生徒支援・教育相談センター」のホームページにリンクします。リンク先には、教育支援センター、親の会、フリースクールなどの関係機関等を紹介しています。

不登校等の相談

電話相談 0857-31-3956

月～金 8:30～17:15(年末年始・祝日を除く)

メール相談 soudan@g.torikyo.ed.jp

市町設置(小中学生対象)、
県設置(高校生年代対象)
の教育支援センター及び
フリースクールの情報

